

住民の声聴き 実行するか

課題に応じ 出向き声を聴いている



議員 矢野 昭三

問 住民は、期待を込めて一票を投じている。地域住民は町長の顔を見たいし、声を直接聴きたいと思っっている。

黒潮町発足迄の時間が少なかったため、今までの取り組み以上に各地域へ出向き、声を聴き実行するか。

また、知事の来町時に何を説明し、要望したか。

答 松本町長

佐賀インターの完成後、また南海トラフ地震対策

をテーマにした町づくり、佐賀地域の事業所訪問。

集落調査、洪水、土砂災害防災対策について、熊野浦、白浜、蜷川、白田川へ出向き住民の声を聴いている。

知事来町時には、市野々川集会所で地区役員と意見交換をした。また、佐賀地域の水産業の現状、活餌の生け簀、産直出荷組合、大方高校女子サッカー部の課題を説明し、理解を頂いた。

大規模公園

公園計画 見直しは

除外地の活用 協議する

問 東地区は、マスタープランでは住宅地の位置付けをしている。いかに

して具現化するか待ち望んでいる。どのように取り組むか。

また、買収済の用地に屋内体育館等を建設し、残土で既設のグラウンドを嵩上するとともに、地震津波襲来時等の避難場所にするか。

答 松本町長

関係地区の区長等から、高台を有効活用したい等の意見を頂戴した。

この事を踏まえ県が見公募すると同じような活用に関する意見があった。さまざまな可能性を探り除外地の活用についても協議する。

また、東公園グラウンドは、津波襲来時1mから3mほど浸水する。現在のところ屋内運動場、嵩上も計画はないが、あらゆる可能性を探る。大規模公園用地を活用することも選択肢の一つ。協議は継続していく。

防災

伊与木川の 氾濫対策は

仁井田の可動 堰を調査する

問 農家が大変苦勞し、米を作ってきた。伊与木川の氾濫対策のために頭首工を可動堰にするか。政治家として財源確保に努めるか。

答 松本町長

既存の頭首工を可動堰に改修することは、関係者の負担増となることから、実施は困難である。四万十町仁井田では、可動堰を実施しているという情報もあり調査をしたい。

また財源の確保のために、政治活動も継続する。

産業振興

佐賀漁港の 対策は 振興に努める

問 令和3年の佐賀漁港の水揚げ量と金額、課題。また、知事に要望したことは何か。

答 松本町長

11月末時点で昨年の2・7倍、2083トン、金額は約2倍の5・5億円。これらは高知沖の漁場形成と活餌供給事業における多大な効果。価格形成に引き続き注視し、必要な施策を講じていく。課題として、流通の在り方や食文化等様々な情報収集し施策を進める。知事に対しては、活餌の供給体制の新たな対応、カタクチイワシの供給、県の担当職員が頻繁に来町するよう要望した。

【その他の質問】

・空き家対策について



町道も冠水して孤立した伊与喜集落（令和3年9月）